

Library News



京教図書館 News

2007

12

私のすすめるこの1冊・・・ 坂東忠司(理学科 教授)

宇根 豊(うね ゆたか)『田んぼの忘れもの』

書評を書く前に、まず著者の宇根豊氏について触れたいと思う。宇根氏は2000年に退職されるまでの27年間にわたり、福岡県農業改良普及員として活躍されていた。そこでは従来の農業のあり方に疑問を感じる一方で農業の本来の意義を見つめ、農民の新しい生き方を模索し続けた。早くから水田の減農薬運動を提唱し、1983年には減農薬栽培米の産直にはじめて取り組み、また、ダイオキシンを含む除草剤を、国の方針に13年も先駆けて福岡から追放した人物でもある。また、1989年には新規参入で農業を営むようになり、福岡県庁退職後は、NPO法人「農と自然の研究所」を共同設立し、現在は代表理事として精力的な執筆・講演活動の中でこれからの農業のあり方や存在価値を訴え続けている。

“赤とんぼ”のことから書き出そうと思う。”という出だしである。自らを「百姓」と名乗り、その仕事に誇りを持って熱く語る口調に思わず引き込まれてしまう。普及員時代に仲間の一である篠原正昭氏が考案した「虫見板」や「農業生物」「害虫・益虫・ただの虫」という考え方を世に広めた宇根氏の思いが本文の至る所にちりばめられている。

“百姓は農薬散布することを、「消毒する」と表現する。「田んぼの消毒をして来た」というように使う。考えてみれば奇妙な使い方だ。毒を消すどころか農薬という毒性のある物質をまきちらすのだから・・・”しかし、これは農民に限った話ではなく、“一般に電車やビルの中の薬剤防除を「消毒」と言い、人間にとって邪魔なものを排除することは善であって、その手段やその結果は問題にしないという考え方に基づく”という下りには、深く考えさせられてしまう。

“耕作地での生産力とは、農作物の生産だけではなく、多様な生物を育てることが真の生産力を意味する。”ことには、思わずうなずいてしまう。

生きもの(当然ヒトも含まれている)にとって最も身近ですぐれた環境のひとつである(ビオトープと言ってもいい)“田んぼ”と、それを守る農家の貢献を知る上で是非読んでいただきたい一冊である。可能であれば同氏の『田んぼの学校』、『減農薬のイネづくり』、『「百姓仕事」が自然をつくる』、『国民のための百姓学』、『虫見板で豊かな田んぼへ』なども合わせて読んでほしい。

『田んぼの忘れもの』 宇根 豊(うね ゆたか) 著 出版社: 葦書房 1996年 定価 1,575円
購入手続き中

■ 図書館からのニュース

1. 冬期休業に伴う長期貸出について

区分	学部学生	大学院生・教職員
貸出期間	12月10日(月)～12月27日(木)	11月24日(土)～12月15日(土)
貸出冊数	5冊	10冊
返却期日	2008年1月15日(火)	2008年1月15日(火)

* 視聴覚資料は除きます。

* 長期貸出図書については、貸出の更新はできません。

一度返却してから、翌日貸出の手続きをとってください。

* 一般利用者の方は長期貸出の対象外となります。

2. 12月の論文検索・収集法講座会

雑誌論文のデータベース CiNii を使った論文の検索から、実際の入手方法まで、パソコンを使いながら実習形式で説明します。

「論文を読めと言われたけど、図書館のどこに置いてあるの?」という方も、「書庫に入ってみたけど、なんだかよくわかんない」という方も、まずはここから始めてみましょう。

事前申込は不要です。直接カウンターまでお越し下さい。

12月3日(月) 17:30-18:00

12月14日(金) 16:30-17:00

12月5日(水) 13:30-14:00

12月18日(火) 10:30-11:00

3. 第12回教科書展が終わりました

今年度は「中等教育用教科書(社会編)」と題した教科書展を11月8日から23日までの期間開催しました。期間中は、地域の方々、本学教職員・学生、また、最終日の23日にはオープンキャンパスも開催され、延約280名の方が訪れました。

今回の展示に際しては、社会科学科にお世話になり、特に、水山光春先生、武島良成先生が中心に準備を進めて下さり、ご協力いただきましたこと、厚く感謝申し上げます。

4. 京都市立中学校「生き方探求・チャレンジ体験」に協力

11月5日から8日までの4日間、藤森中学校の2年生2名が図書館で勤労体験としてカウンターでの貸出・返却、書架の整理等の実習を行いました。

ご協力ありがとうございました。

5. 禁煙へのご協力をお願い

図書館玄関左側に設置していましたが、玄関出入り口側のため副流煙が自動ドアから館内に流入し図書館利用者への影響が大きいことなどにより11月22日に撤去いたしました。喫煙される場合は、学生会館中庭の喫煙場所を利用させていただきますよう、ご協力お願いいたします。灰皿の無い場所で喫煙シタバコをポイ捨てする学生を見かけ注意しましたが、喫煙場所以外での喫煙は固く禁じられていますので、喫煙のためのマナーは厳守していただきますよう、よろしくお願いいたします。

6. 書庫内書架の転倒防止工事について

平成20年1月13日（日）、14日（月・祝）にかけて書庫内の一部の書架について、転倒防止工事を行います。工事の進み具合によっては15日（火）も作業が延びるかも知れませんが、ご協力よろしくお願いたします。

7. 訃報

本学の学術委員会・図書館部会委員として図書館の運営にご尽力をいただいた松井仁教授（教育学科）が11月29日ご逝去されました。
ここに哀悼の意を表すとともに、心よりご冥福をお祈り致します。

■ 論のくちび理のむすび・・・香川貴志（社会科学科 教授）

「上海市の都心部における居住空間の変化と再構築」

—上海市芦湾区を例として—

香川貴志・Chu JINFENG：京都教育大学紀要N o 111、PP55-63、2007

産業構造の調整や住宅政策を伴った中国の経済成長は、とくに大都市の居住空間に重要な変化をもたらしました。この論文では、そうした変化が大きかった上海市を取り上げ、都心的な行政区域である芦湾区を事例として、異なった歴史的ステージにおける居住空間の配置について精査しました。さらに、住宅様式や居住構造を参考にしながら、上海の都心部における居住空間の発達を紹介しています。居住空間の変化には内的規制が大きく関与していますが、そこには規制を促す様々な営力が介在していて、それを解明することも、この研究の目的の一つです。こうした分析を通じて、芦湾区に特有の居住空間の発達についての全体像が把握できるだけでなく、そこから上海市の都心部における一般的傾向の推察に至ることも可能です。

芦湾区、さらには上海市に留まらず、現代中国の都市居住は商品房と称される分譲マンションの急増で特色付けられます。その基盤が鄧小平時代の改革開放経済にあることに疑いを挟む余地はありませんが、商品房が大都市で急増したのは1990年代の半ば以降です。公共交通機関の整備が未熟であったことに加え、都心部やその周辺では住宅が老朽化していたこともあり、商品房は都心部の地域構造や居住様式を一新しました。社会主義国としての中国の都心部（およびその周辺）の特徴であった生産機能は大きく後退し、工場・流通施設跡地は商品房や商業・サービス行地域へと変貌しました。上海市芦湾区はその典型例として注目できます。商品房は土地使用権を伴った（土地所有権は無い）分譲マンションですが、その売買は住宅バブルの様相すら呈していて、近郊や郊外における同様の住宅とは大きな価格差も存在します。こと住宅市場に関しては、先進資本主義国のそれに類似する状況が中国で生じていると言えるでしょう。

全文は図書館HP「京都教育大学紀要」で、ご覧いただけます。



■ 図書館開館スケジュール



(通 常)

開館時間 : 9:00

閉館時間 : 21:00

一部期間は17:00に閉館します

下記カレンダー「~17:00」と記載

12

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
												1	
												休館	
2	3	4	5	整	6	7	8						
休館				休館			~17:00						
9	10	11	12	13	14	15							
休館							~17:00						
16	17	18	19	20	21	22							
休館							~17:00						
23	24	振	25	26	27	28	29						
休館	休館	~17:00	~17:00	~17:00	休館	休館							
30	31												
休館	休館												

1

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
				1	祝	2	3	4	5				
				休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館	休館
6	7	8	9	10	11	12							
休館	~17:00	~17:00	~17:00			~17:00							
13	14	祝	15	16	17	18	19						
休館	休館					休館	休館						
20	21	22	23	24	25	26							
休館							~17:00						
27	28	29	30	31									
休館													

12月1日(土)は推薦入試のため休館します。
 12月5日(水)は館内整理のため休館します。
 12月24日(月)は振替休日のため休館します。
 12月25日(火)から12月27日(木)まで
 短縮開館です。

12月28日(金)から翌1月6日(日)まで
 年末年始のため休館します。

1月7日(月)から1月9日(水)まで短縮
 開館です。

1月18日(金)から20日(日)まで大学
 入試センター試験のため休館します。

京教図書館 News No. 87 2007年12月号
 編集発行：京都教育大学附属図書館
 発行日：平成19年12月3日
 内容に関するお問い合わせ先：
 附属図書館(内線8176)